

令和5（2023）年度 人権相談・啓発等事業  
令和4（2022）年度の大阪府内における人権に関する相談の状況

大阪府では、人権相談や人権啓発の充実につなげるため、令和4（2022）年度に大阪府や市町村の人権相談窓口等が対応した人権に関する相談の状況について集約を行いました。

対象機関、集約方法等の概要は以下のとおりです。

■対象機関

1. 大阪府人権相談窓口

大阪府では、「大阪府人権相談窓口」を設置し、その運営を一般財団法人 大阪府人権協会に委託しています。人権侵害を受け、または受けるおそれのある府民が、自らの主体的な判断により課題を解決することができるように、事案に応じた適切な助言や情報提供等を行う人権相談事業を行っています。

- ・ 大阪府 府民文化部 人権局
- ・ 一般財団法人 大阪府人権協会

2. 市町村における人権に関する総合的な相談機関

市町村では、人権相談担当部署（人権文化センター等を含む）と市町村人権協会・人権地域協議会が、人権に関する様々な相談に対応しており、市町村や地域レベルの身近な相談窓口となっています。

- ・ 市町村人権相談担当部署（人権文化センター等を含む）
- ・ 市町村人権協会・人権地域協議会

	対象機関数			回収機関数			回収率		
	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
1.「大阪府人権相談窓口」	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	100.0%	100.0%	100.0%
2.「市町村における人権に関する総合的な相談機関」	112か所	112か所	112か所	112か所	112か所	112か所	100.0%	100.0%	100.0%
合計	114か所	114か所	114か所	114か所	114か所	114か所	100.0%	100.0%	100.0%

■集約方法

対象機関に対して、郵送や電子メールにより、令和4（2022）年度に受けた相談件数の提供を依頼しました。

具体的には、総実件数と総延べ件数および、その内訳（「人権課題別」、「相談形態別」、「相談者の

性別」、「相談者の年齢別」、「対応状況別」、「その後の経過別」)です。

対象機関への依頼内容の詳細は、別紙(人権相談件数等集計表)のとおりです。

### ■集約期間

令和5(2023)年5月19日付で対象機関に依頼し、同年6月2日を提出期限として回収しました。

### ■集計した総件数

対象機関から提出のあった総件数は以下のとおりです。「大阪府人権相談窓口」への相談件数が年々、増加し続けています。

	総実件数			総延べ件数		
	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
1.「大阪府人権相談窓口」	732件	767件	783件	3,220件	3,717件	3,835件
2.「市町村における人権に関する総合的な相談機関」	7,083件	6,816件	5,227件	11,192件	10,583件	8,960件
合計	7,815件	7,583件	6,010件	14,412件	14,300件	12,795件

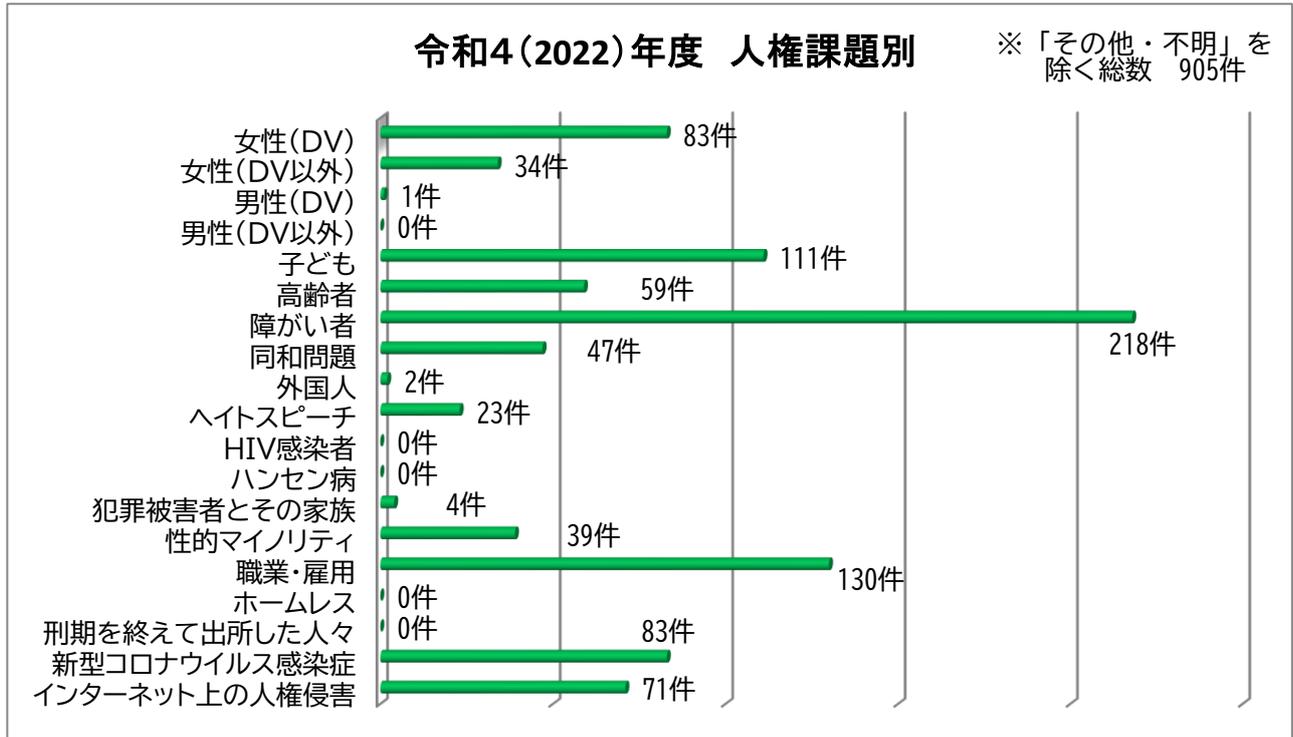
※「総実件数」と「総延べ件数」との区別をしていない機関については、両件数に同数を計上しています。

# 1. 「大阪府人権相談窓口」に寄せられた相談

## (1) 人権課題別 (実件数/重複計上あり)

多いものから、「障がい者」218件(24.1%)、「職業・雇用」130件(14.4%)、「子ども」111件(12.3%)の順になっています。

前年度に比べ、特に「障がい者」や「子ども」、「女性(DV)」、「インターネット上の人権侵害」が増加しています。また、「新型コロナウイルス感染症」や「高齢者」が減少しています。



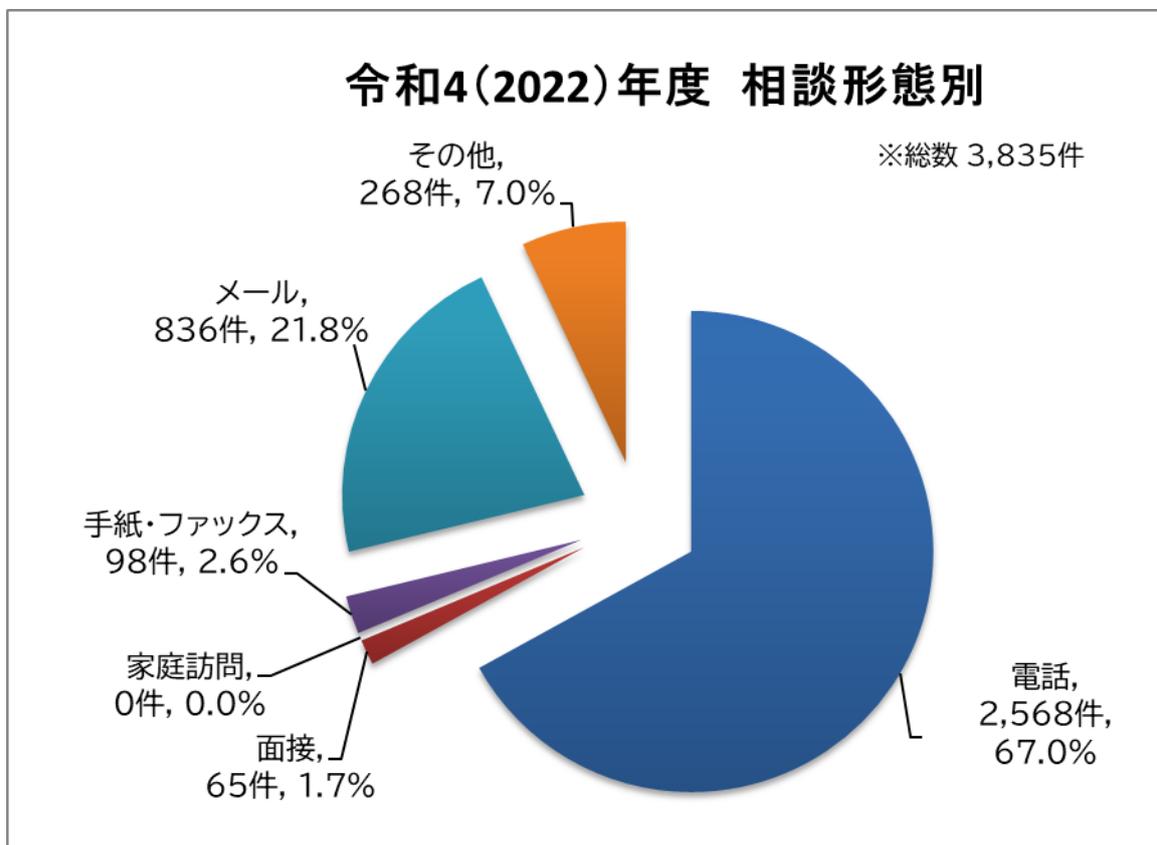
## 経年比較(人権課題別)

人権課題	※「その他・不明」を除く 総数 905件					
	R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度	
女性(DV)	25件	(2.5%)	45件	(5.3%)	83件	(9.2%)
女性(DV以外)	100件	(9.9%)	28件	(3.3%)	34件	(3.8%)
男性(DV)	5件	(0.5%)	3件	(0.4%)	1件	(0.1%)
男性(DV以外)	12件	(1.2%)	1件	(0.1%)	0件	(0.0%)
子ども	116件	(11.5%)	65件	(7.7%)	111件	(12.3%)
高齢者	115件	(11.4%)	73件	(8.6%)	59件	(6.5%)
障がい者	300件	(29.8%)	169件	(20.0%)	218件	(24.1%)
同和問題	24件	(2.4%)	19件	(2.2%)	47件	(5.2%)
外国人	46件	(4.6%)	4件	(0.5%)	2件	(0.2%)
ハイトスピーチ	0件	(0.0%)	27件	(3.2%)	23件	(2.5%)
HIV感染者	2件	(0.2%)	0件	(0.0%)	0件	(0.0%)
ハンセン病	1件	(0.1%)	0件	(0.0%)	0件	(0.0%)
犯罪被害者とその家族	2件	(0.2%)	12件	(1.4%)	4件	(0.4%)
性的マイノリティ	40件	(4.0%)	35件	(4.1%)	39件	(4.3%)
職業・雇用	212件	(21.1%)	122件	(14.4%)	130件	(14.4%)
ホームレス	2件	(0.2%)	3件	(0.4%)	0件	(0.0%)
刑期を終えて出所した人々	5件	(0.5%)	1件	(0.1%)	0件	(0.0%)
新型コロナウイルス感染症	-	-	198件	(23.4%)	83件	(9.2%)
インターネット上の人権侵害	-	-	41件	(4.8%)	71件	(7.8%)

## (2) 相談形態別 (延べ件数)

多いものから、「電話」での相談 2,568 件 (67%)、「メール」での相談 836 件 (21.8%) の順になっています。

前年度に比べ、「メール」での相談が増加し、「電話」や「家庭訪問」での相談が減少しています。



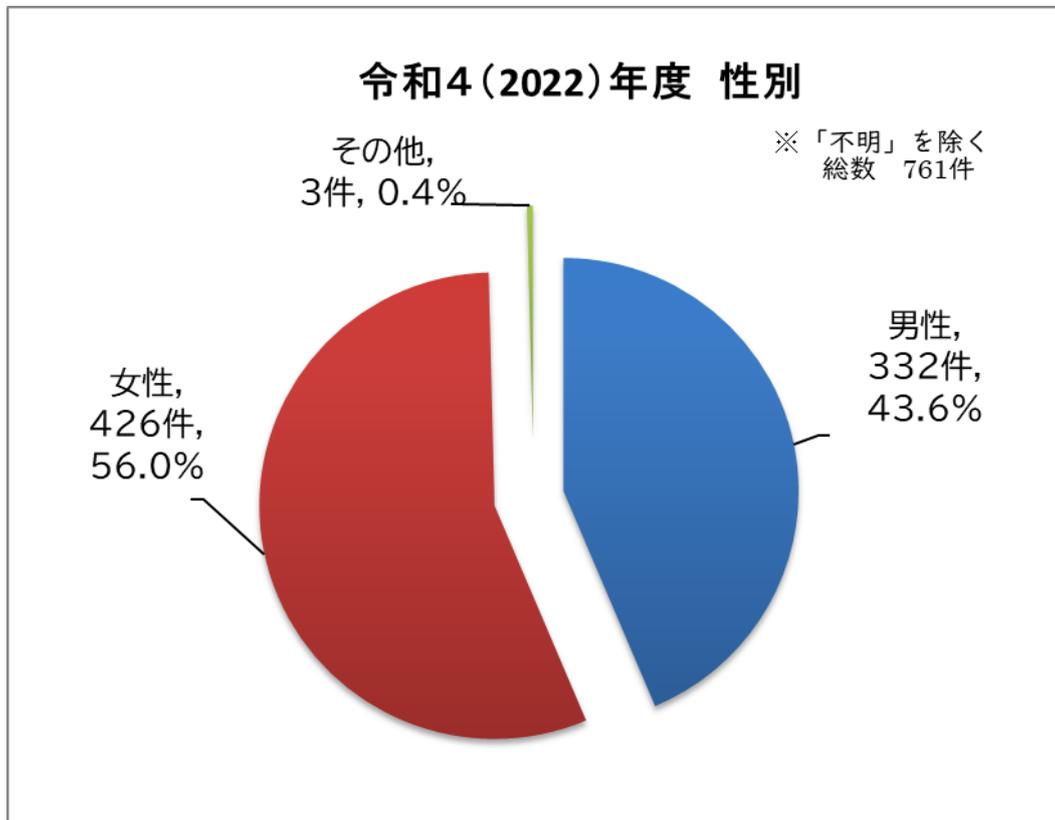
## 経年比較 (相談形態別)

※総数 3,835件

	R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
電話	2,169件	(67.4%)	2,658件	(71.5%)	2,568件	(67.0%)
面接	121件	(3.8%)	58件	(1.6%)	65件	(1.7%)
家庭訪問	10件	(0.3%)	2件	(0.1%)	0件	(0.0%)
手紙・ファックス	48件	(1.5%)	84件	(2.3%)	98件	(2.6%)
メール	354件	(11.0%)	501件	(13.5%)	836件	(21.8%)
その他	518件	(16.1%)	414件	(11.1%)	268件	(7.0%)

### (3) 相談者の性別 (実件数)

「女性」からの相談が426件(56%)、「男性」からの相談が332件(43.6%)、「その他」の相談が3件(0.4%)となっています。前年度に比べ、「男性」と「女性」からの相談が増加し、「その他」からの相談が減少しています。なお、「その他」の相談に、性的マイノリティ当事者からの相談を含んでいます。



### 経年比較 (性別)

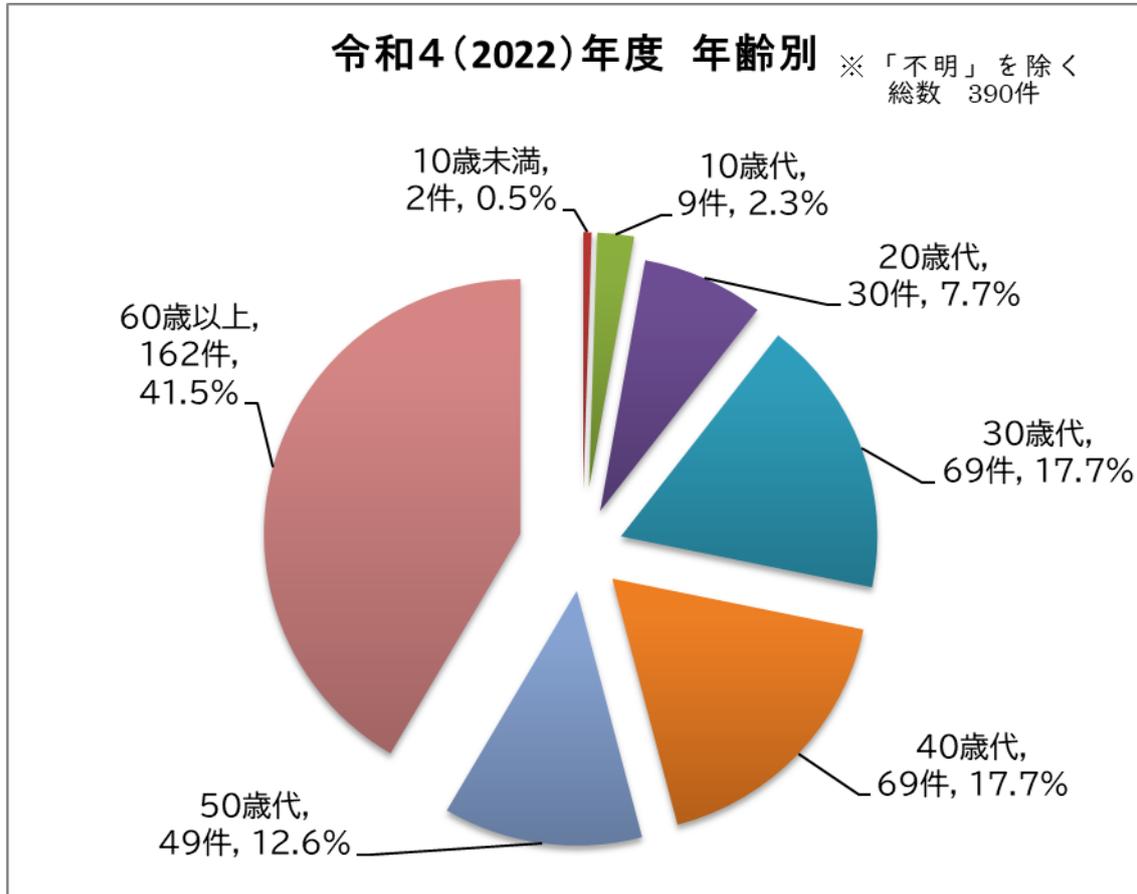
※「不明」を除く 総数 761件

	R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度	
男性	293件	(43.4%)	282件	(41.1%)	332件	(43.6%)
女性	353件	(52.3%)	393件	(57.3%)	426件	(56.0%)
その他	29件	(4.3%)	11件	(1.6%)	3件	(0.4%)

**(4) 相談者の年齢別 (実件数)**

「60歳以上」が162件(41.5%)と最も多く、次いで「30歳代」と「40歳代」がそれぞれ69件(17.7%)の順となっています。

全体に占める40歳以上の相談者の割合は71.8%であり、中高年齢層からの相談が多い状況となっています。



**経年比較 (年齢別)**

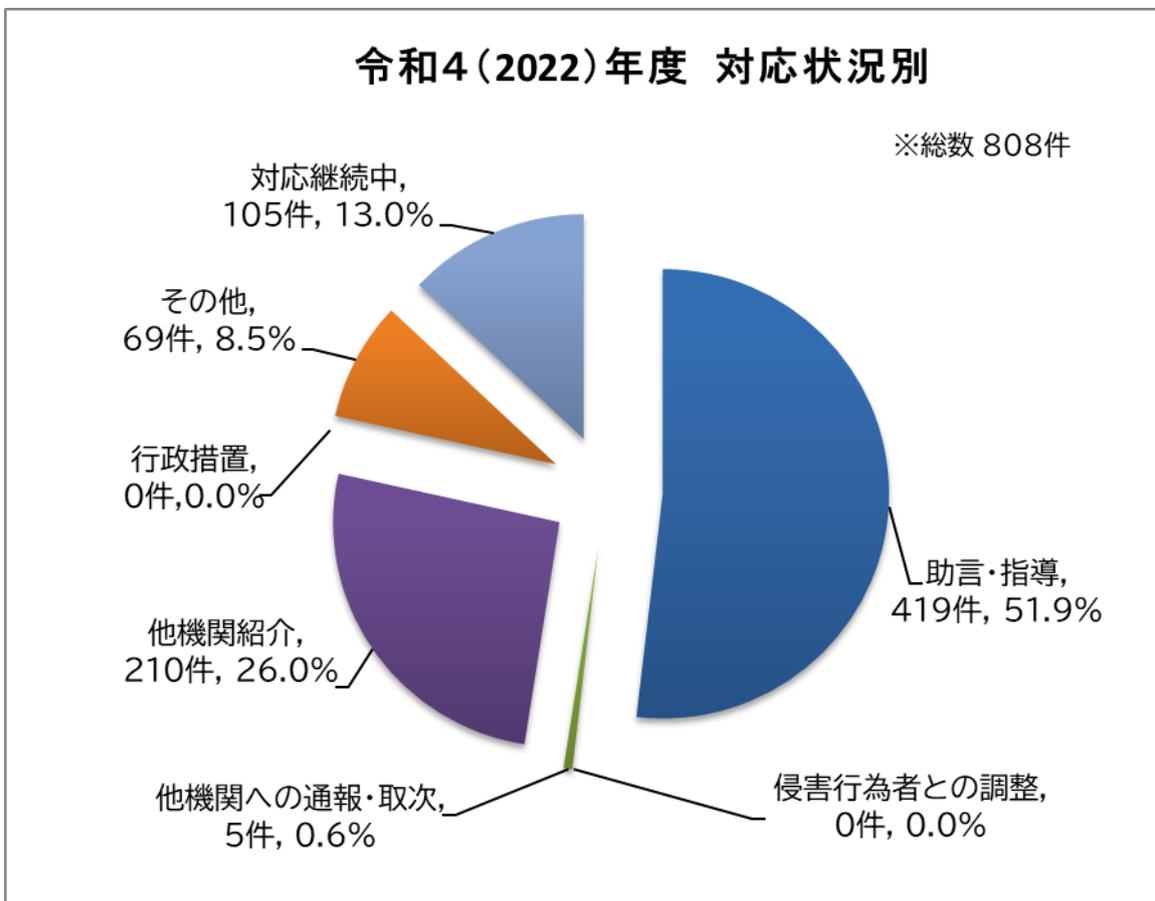
※「不明」を除く 総数 390件

	R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
10歳未満	3件	(0.8%)	0件	(0.0%)	2件	(0.5%)
10歳代	10件	(2.6%)	7件	(1.9%)	9件	(2.3%)
20歳代	25件	(6.6%)	27件	(7.2%)	30件	(7.7%)
30歳代	67件	(17.6%)	66件	(17.7%)	69件	(17.7%)
40歳代	42件	(11.1%)	61件	(16.4%)	69件	(17.7%)
50歳代	86件	(22.6%)	53件	(14.2%)	49件	(12.6%)
60歳以上	147件	(38.7%)	159件	(42.6%)	162件	(41.5%)

### (5) 対応状況別 (実件数)

多いものから、「助言・指導」419件(51.9%)、「他機関紹介」210件(26%)の順になっています。「対応継続中」105件(13%)は前年度から続けて増えています。

「その他」69件(8.5%)には、「話を聴いてほしい」という相談への傾聴対応等が含まれています。



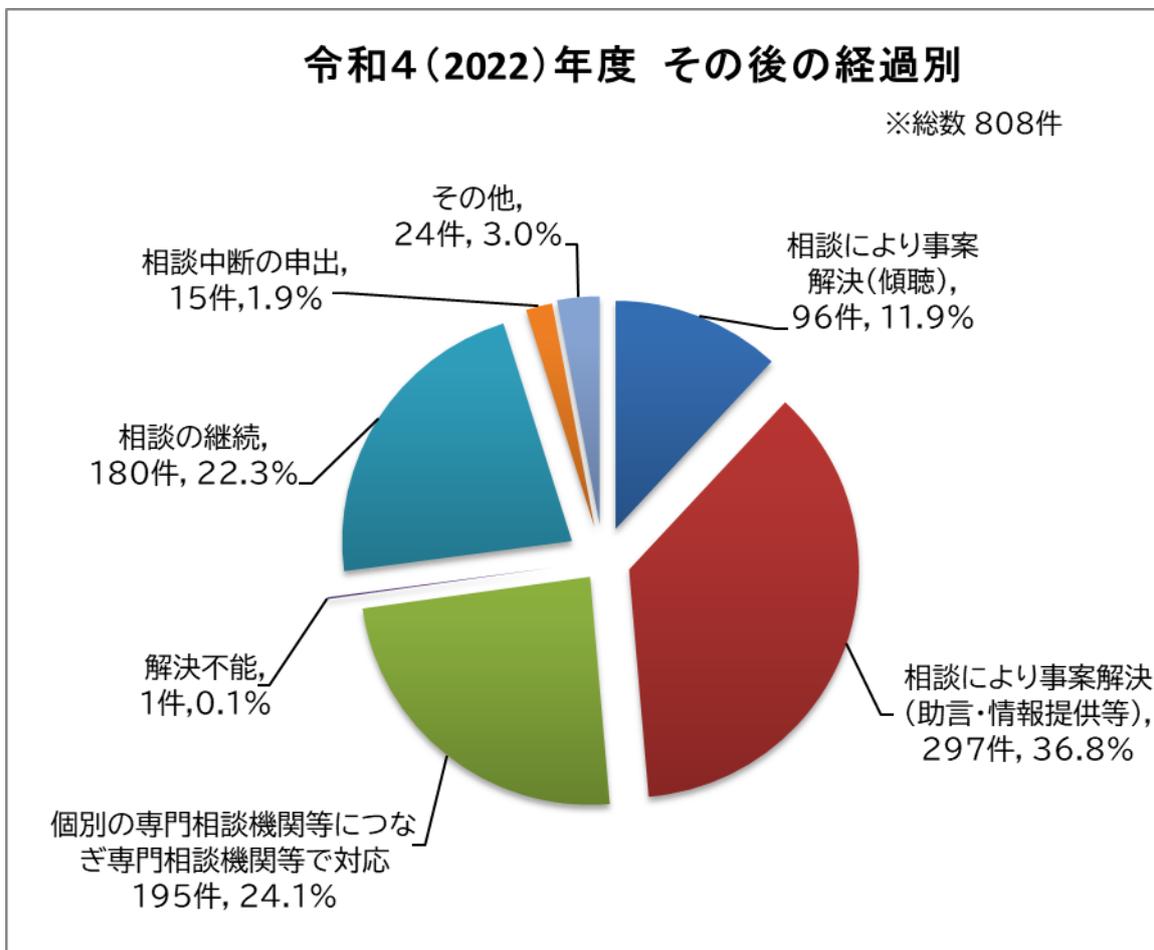
### 経年比較 (対応状況別)

	R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
助言・指導	336	(45.9%)	360	(46.9%)	419	(51.9%)
侵害行為者との調整	4	(0.5%)	1	(0.1%)	0	(0.0%)
他機関への通報・取次	21	(2.9%)	7	(0.9%)	5	(0.6%)
他機関紹介	214	(29.2%)	217	(28.3%)	210	(26.0%)
行政措置	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	127	(17.3%)	79	(10.3%)	69	(8.5%)
対応継続中	30	(4.1%)	103	(13.4%)	105	(13.0%)

※総数 808件

(6) その後の経過別 (実件数)

多いものから、「相談により事案解決(助言・情報提供等)」297件(36.8%)、「個別の専門相談機関等につなぎ専門相談機関等に対応」195件(24.1%)の順になっています。前年度に比べ、特に「相談により事案解決(傾聴)」96件(11.9%)が増加しています。



経年比較 (その後の経過別)

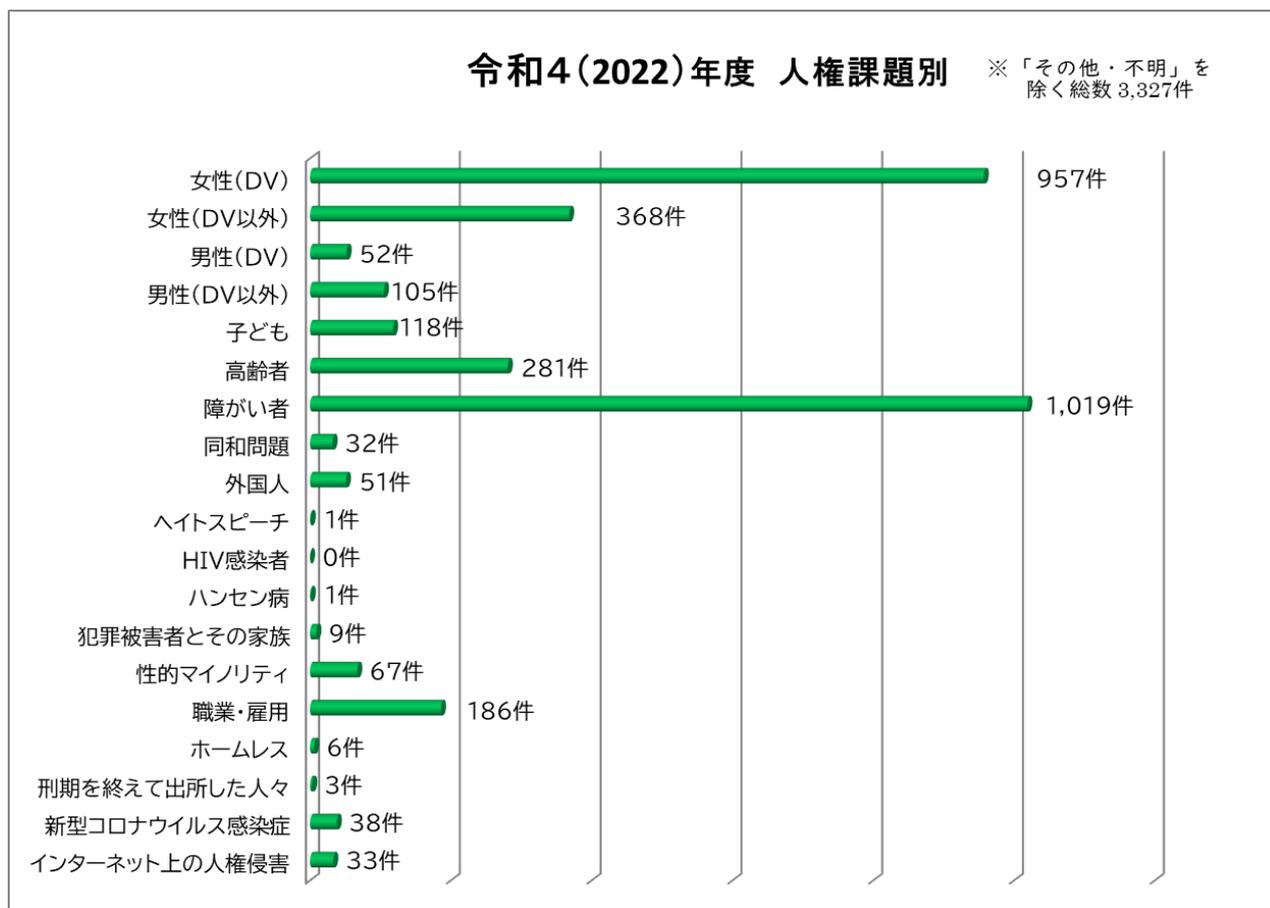
※総数 808件

	R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
相談により事案解決(傾聴)	18	(2.5%)	79	(10.3%)	96	(11.9%)
相談により事案解決(助言・情報提供等)	298	(40.7%)	292	(38.1%)	297	(36.8%)
個別の専門相談機関等につなぎ専門相談機関等に対応	218	(29.8%)	209	(27.2%)	195	(24.1%)
解決不能	2	(0.3%)	1	(0.1%)	1	(0.1%)
相談の継続	111	(15.2%)	144	(18.8%)	180	(22.3%)
相談中断の申出	3	(0.4%)	4	(0.5%)	15	(1.9%)
その他	82	(11.2%)	38	(5.0%)	24	(3.0%)

## 2. 「市町村における人権に関する総合的な相談機関」に寄せられた相談

### (1) 人権課題別 (実件数/重複計上あり)

多いものから、「障がい者」1,019件(30.6%)、「女性(DV)」957件(28.8%)、「女性(DV以外)」368件(11.1%)の順になっています。前年度に比べ、特に職業・雇用」や「新型コロナウイルス感染症」が減少しています。



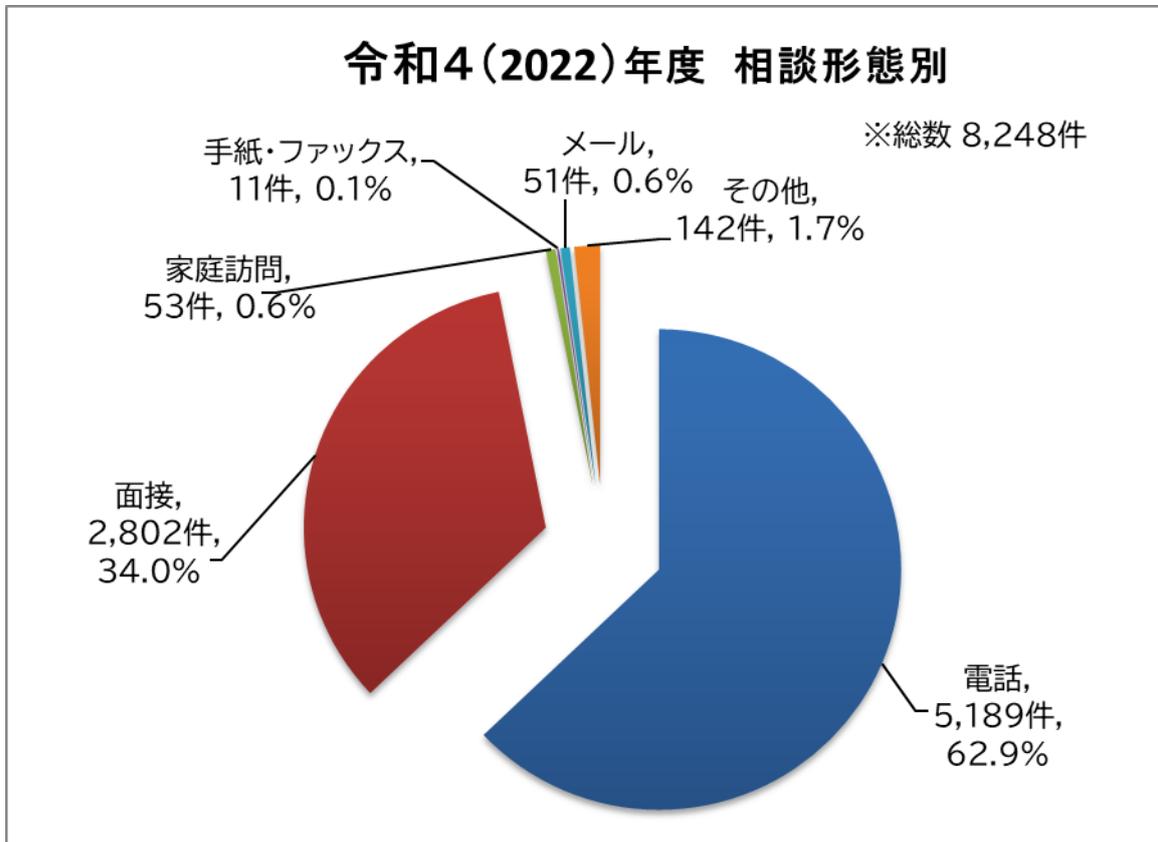
経年比較(人権課題別)

※「その他・不明」を除く 総数 3,327件

	R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度	
女性(DV)	1141件	(31.1%)	1001件	(23.5%)	957件	(28.8%)
女性(DV以外)	396件	(10.8%)	474件	(11.1%)	368件	(11.1%)
男性(DV)	46件	(1.3%)	60件	(1.4%)	52件	(1.6%)
男性(DV以外)	78件	(2.1%)	101件	(2.4%)	105件	(3.2%)
子ども	196件	(5.3%)	155件	(3.6%)	118件	(3.5%)
高齢者	213件	(5.8%)	390件	(9.2%)	281件	(8.4%)
障がい者	696件	(19.0%)	1110件	(26.0%)	1,019件	(30.6%)
同和問題	48件	(1.3%)	44件	(1.0%)	32件	(1.0%)
外国人	99件	(2.7%)	82件	(1.9%)	51件	(1.5%)
ヘイトスピーチ	2件	(0.1%)	2件	(0.1%)	1件	(0.0%)
HIV感染者	0件	(0.0%)	0件	(0.0%)	0件	(0.0%)
ハンセン病	0件	(0.0%)	0件	(0.0%)	1件	(0.0%)
犯罪被害者とその家族	10件	(0.3%)	4件	(0.1%)	9件	(0.3%)
性的マイノリティ	100件	(2.7%)	84件	(2.0%)	67件	(2.0%)
職業・雇用	641件	(17.5%)	516件	(12.1%)	186件	(5.6%)
ホームレス	0件	(0.0%)	1件	(0.0%)	6件	(0.2%)
刑期を終えて出所した人々	5件	(0.1%)	2件	(0.1%)	3件	(0.1%)
新型コロナウイルス感染症	-	-	199件	(4.7%)	38件	(1.1%)
インターネット上の人権侵害	-	-	37件	(0.9%)	33件	(1.0%)

(2) 相談形態別 (延べ件数)

多いものから、「電話」での相談 5,189 件 (62.9%)、「面接」での相談 2,802 件 (34%) の順になっています。前年度に比べ、「手紙・FAX」を除く全ての件数が減少しています。

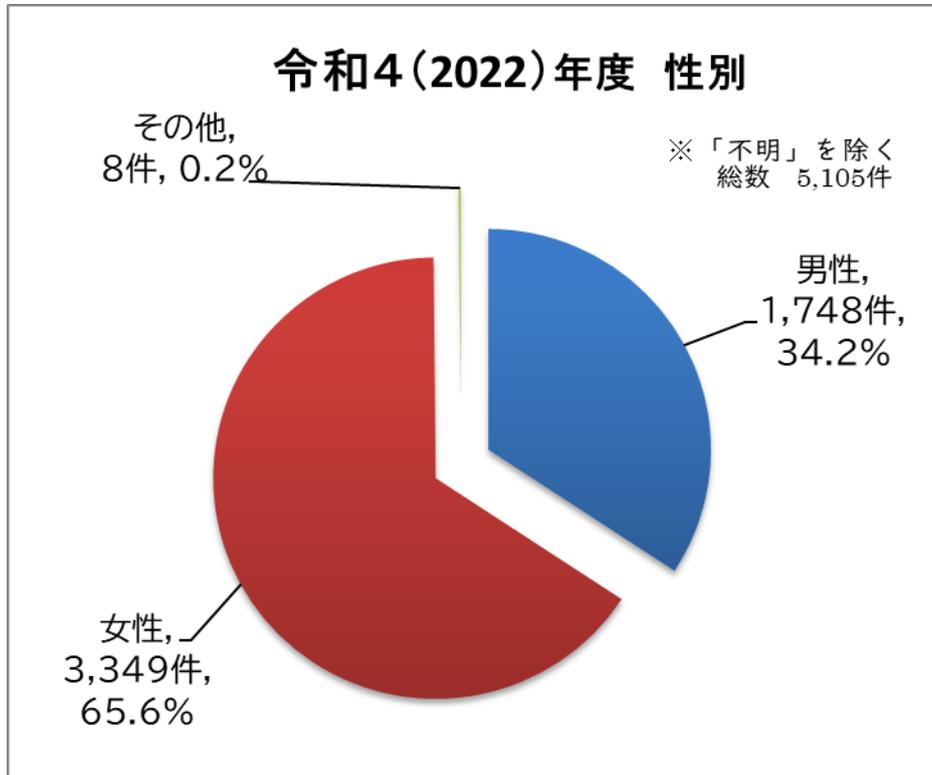


経年比較 (相談形態別)

	R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
電話	6,551	(63.9%)	6,085	(65.3%)	5,189	(62.9%)
面接	3,053	(29.8%)	2,879	(30.9%)	2,802	(34.0%)
家庭訪問	30	(0.3%)	70	(0.8%)	53	(0.6%)
手紙・ファックス	25	(0.2%)	10	(0.1%)	11	(0.1%)
メール	155	(1.5%)	98	(1.1%)	51	(0.6%)
その他	444	(4.3%)	180	(1.9%)	142	(1.7%)
<b>合計</b>	<b>10,258</b>	<b>100.0%</b>	<b>9,322</b>	<b>100.0%</b>	<b>8,248</b>	<b>100.0%</b>

**(3) 相談者の性別 (実件数)**

「女性」からの相談が3,349件(65.6%)、「男性」からの相談が1,748件(34.2%)、「その他」の相談が8件(0.2%)となっています。前年度に比べ、全ての性別の件数が減少しています。「その他」は、性的マイノリティ当事者からの相談を含んでいます。



**経年比較 (性別)**

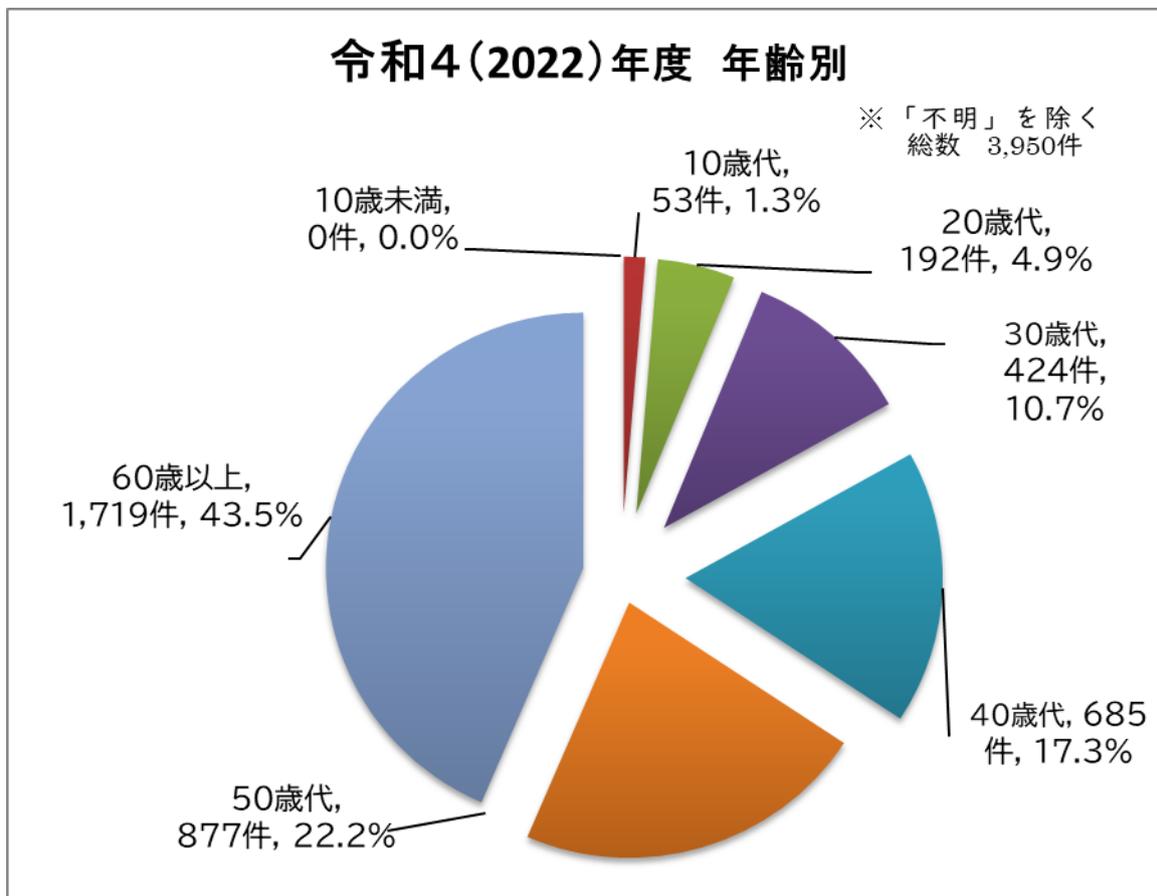
※「不明」を除く 総数 5,105件

	R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度	
男性	2,078件	(34.9%)	2,352件	(36.7%)	1,748件	(34.2%)
女性	3,865件	(64.9%)	4,038件	(62.9%)	3,349件	(65.6%)
その他	9件	(0.2%)	26件	(0.4%)	8件	(0.2%)

#### (4) 相談者の年齢別 (実件数)

多いものから、「60歳以上」1,719件(43.5%)、「50歳代」877件(22.2%)、「40歳代」685件(17.3%)の順になっています。前年度に比べ、特に「40歳代」と「50歳代」からの相談が大幅に減少しています。

全体に占める40歳以上の相談者の割合は83%であり、中高年齢層からの相談が多い状況となっています。



#### 経年比較 (年齢別)

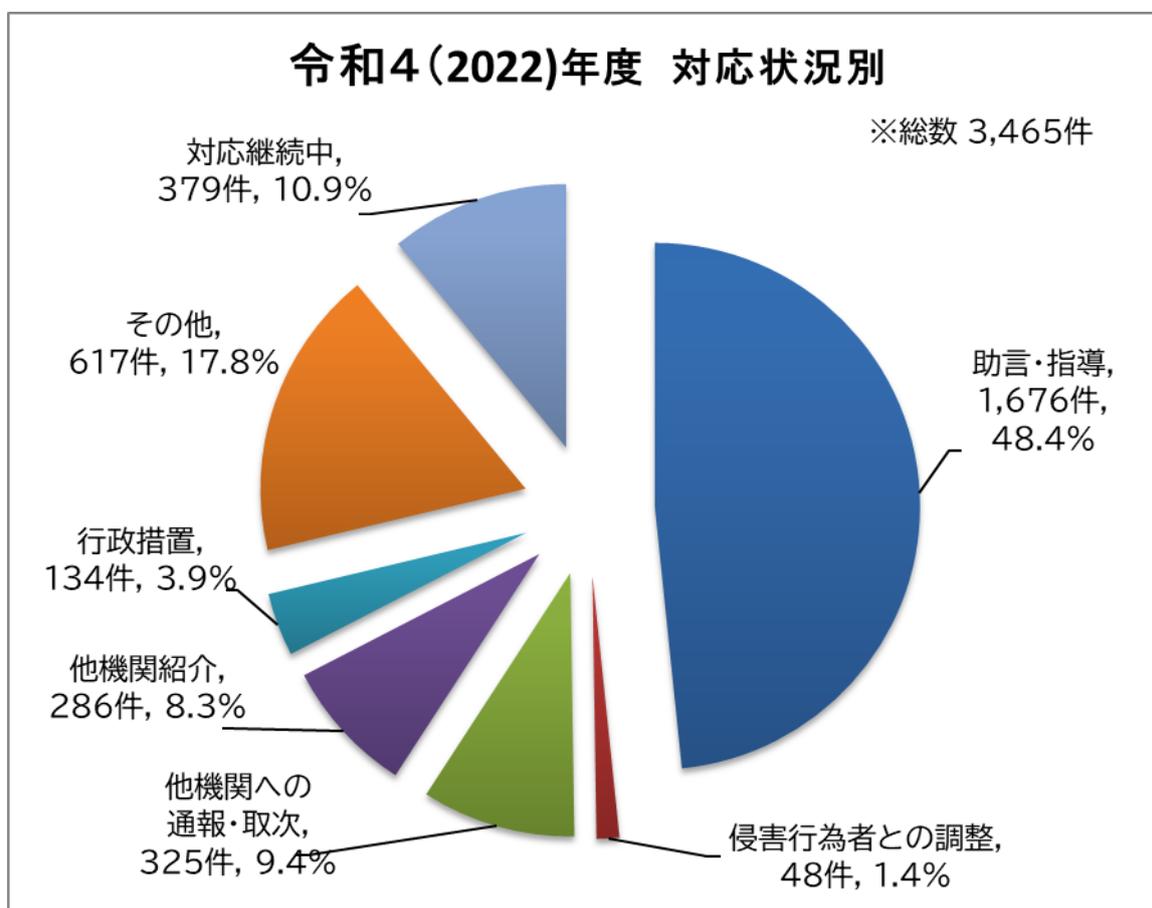
※「不明」を除く 総数 3,950件

	R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
10歳未満	3件	(0.1%)	3件	(0.1%)	0件	(0.0%)
10歳代	101件	(2.1%)	61件	(1.2%)	53件	(1.3%)
20歳代	299件	(6.4%)	251件	(4.9%)	192件	(4.9%)
30歳代	487件	(10.4%)	437件	(8.5%)	424件	(10.7%)
40歳代	823件	(17.5%)	1,069件	(20.8%)	685件	(17.3%)
50歳代	1,407件	(29.9%)	1,519件	(29.5%)	877件	(22.2%)
60歳以上	1,578件	(33.6%)	1,811件	(35.2%)	1,719件	(43.5%)

### (5) 対応状況別 (実件数)

「助言・指導」が1,676件(48.4%)と約半分を占めており、各相談機関における対応を積極的に行われたことがわかります。次いで、「他機関への通報・取次」325件(9.4%)、「他機関紹介」286件(8.3%)、の順になっています。※「その他」と「対応継続中」を除く

「その他」617件(17.8%)には、「話を聴いてほしい」という相談への傾聴対応等が含まれています。



### 経年比較 (対応状況別)

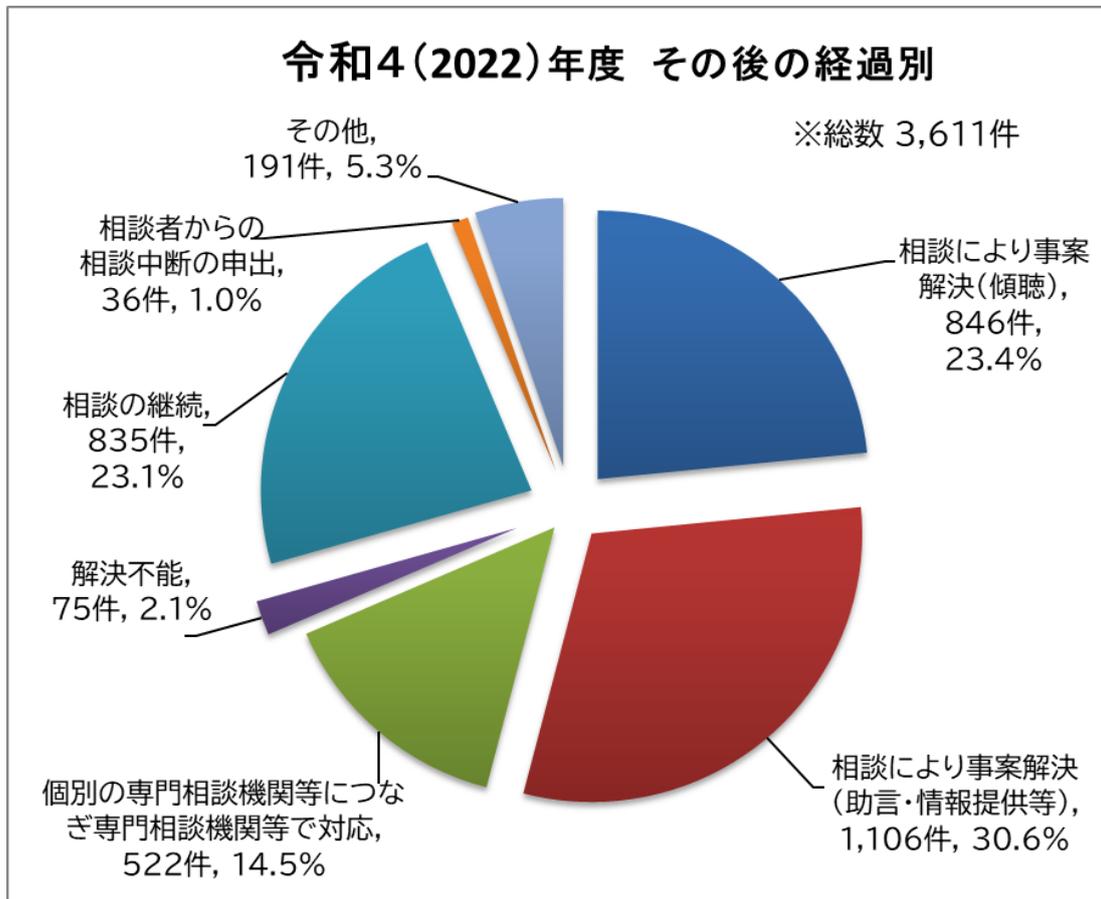
※総数 3,465件

	R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
助言・指導	1,753件	(45.5%)	1,909件	(49.8%)	1,676件	(48.4%)
侵害行為者との調整	12件	(0.3%)	34件	(0.9%)	48件	(1.4%)
他機関への通報・取次	403件	(10.5%)	330件	(8.6%)	325件	(9.4%)
他機関紹介	390件	(10.1%)	396件	(10.3%)	286件	(8.3%)
行政措置	134件	(3.5%)	140件	(3.7%)	134件	(3.9%)
その他	654件	(17.0%)	670件	(17.5%)	617件	(17.8%)
対応継続中	507件	(13.2%)	355件	(9.3%)	379件	(10.9%)

### (6) その後の経過別 (実件数)

多いものから、「相談により事案解決（助言・情報提供等）」1,106件（30.6%）、「相談により事案解決（傾聴）」846件（23.4%）、「個別の専門相談機関等につなぎ専門相談機関等に対応」522件（14.5%）の順になっています。※相談の継続を除く

前年度に比べ、「相談により事案解決（傾聴）」が増加した一方で、「解決不能」が減少しており、各相談機関において、多くの相談を解決に導いたことがわかります。



### 経年比較 (その後の経過別)

※総数 3,611件

	R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度	
相談により事案解決（傾聴）	671件	(17.7%)	777件	(20.5%)	846件	(23.4%)
相談により事案解決（助言・情報提供等）	923件	(24.3%)	1132件	(29.9%)	1,106件	(30.6%)
個別の専門相談機関等につなぎ専門相談機関等に対応	537件	(14.1%)	545件	(14.4%)	522件	(14.5%)
解決不能	70件	(1.8%)	116件	(3.1%)	75件	(2.1%)
相談の継続	1061件	(27.9%)	848件	(22.4%)	835件	(23.1%)
相談者からの相談中断の申出	49件	(1.3%)	35件	(0.9%)	36件	(1.0%)
その他	490件	(12.9%)	336件	(8.9%)	191件	(5.3%)